

平成31年産

# 大崎麦作情報 第2号

平成31年2月26日発行  
宮城県大崎農業改良普及センター  
TEL0229-91-0726 FAX 0229-23-0910  
<http://www.pref.miyagi.jp/site/osnokai/>

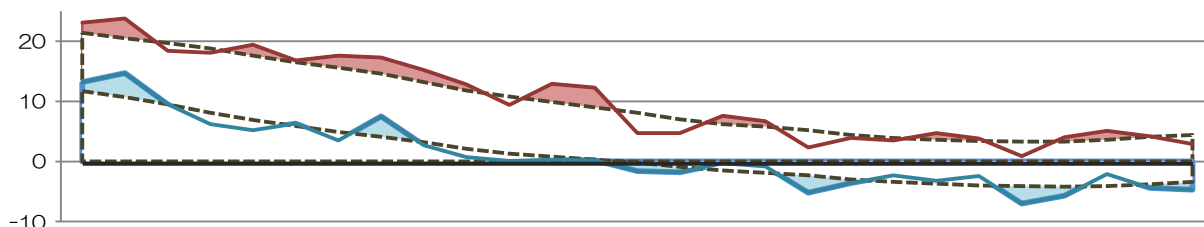
～今後の管理のポイント～

- 生育が平年より進んでいるため、追肥の準備を早めに行いましょう。
- 莖立期前の麦踏みを行いましょう。
- 明きよ・暗きよの再点検を行いましょう。

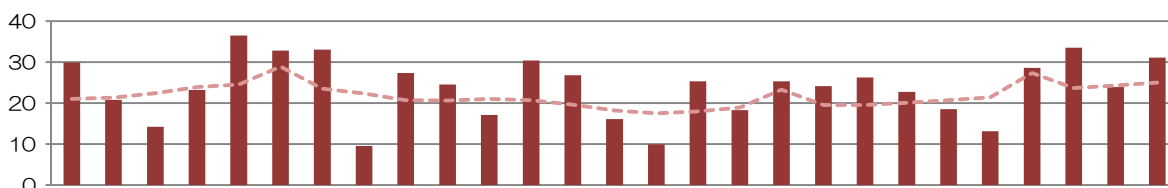
## 1 気象経過

- ・気温と日照時間は平年並～やや高い傾向となりました。
- ・降水量は10月下旬が平年より少なくなりました。その後、11月上旬と12月中旬に降雨がありました。それ以外は平年と比較して少ない傾向となりました。
- ・12月下旬（降雪量合計28cm）と1月下旬（降雪量合計45cm）にまとまった降雪がありました。

最高・最低気温（℃）



日照時間（時間）



降水量（mm）

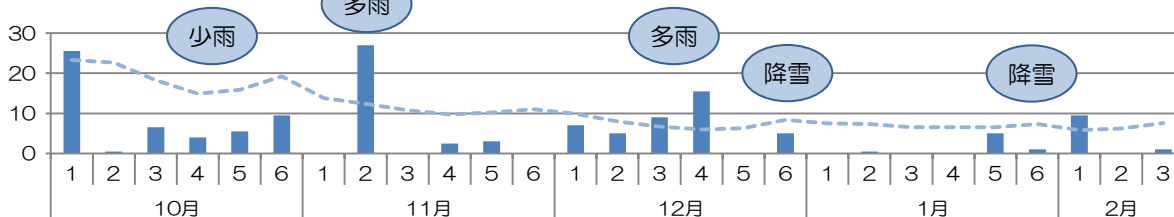


図1 気象経過（アメダス古川）

※実線又は棒グラフが本年値、点線は平年値。

## 2 生育状況（2月8日現在）

- 播種時期は降雨が少なく、概ね適期に行われました。
- 生育調査結果では、草丈は9.1cm、茎数は664本/m<sup>2</sup>と平年並となりましたが、鳥害が多く見られました。
- 幼穂長は0.4mm（平年差+0.24mm）と、平年より生育が進んでいます。

表1 生育調査ほの生育調査結果

地区名 品種名	播種日			草丈 (cm)			茎数 (本/m <sup>2</sup> )			幼穂長 (mm)		
	本年	前年差	平年差	本年	前年比	平年比	本年	前年比	平年比	本年	前年差	平年差
古川 シラネコムギ	10/19	-10	-4	9.1	121%	92%	664	275%	100%	0.4	+0.4	+0.24

※平年差（比）は、過去5か年（平成26年～平成30年）の平均値との比較



写真1 生育調査ほの様子（左：鳥害少ない、右：鳥害あり）

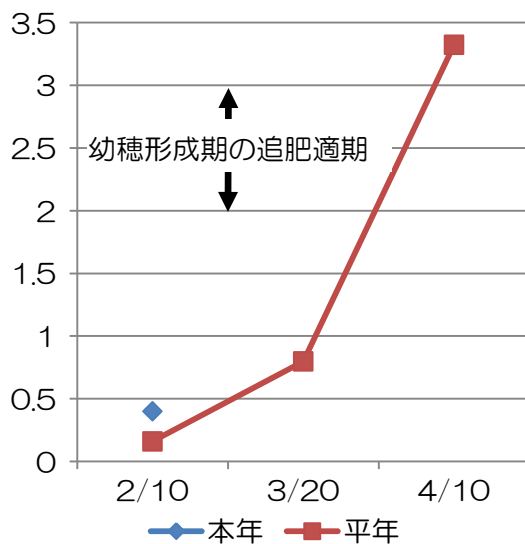


図2 生育調査ほ(品種:シラネコムギ)における幼穂長の推移

写真2 調査時点の幼穂(0.4mm)

## 2 今後の管理

### (1) 追肥

穂数を確保するために追肥を行いましょう。

表2 追肥時期と施肥量の目安

追肥の種類	幼穂形成期 (幼穂長2~3mm)	減数分裂期 (幼穂長30mm)	穂揃期 (8~9割出穂)
追肥時期	3月下旬~4月中旬	4月下旬~5月上旬	5月中旬
N施肥量 (kg/10a)	2~2.5	4~5	2~2.5
硫安の場合 (kg/10a)	10~12	20~25	10~12
尿素の場合 (kg/10a)	4.5~5.5	9~11	4.5~5.5

※生育量が少ない・湿害等により葉色が薄い・鳥害が著しいと思われる場合、幼穂形成期前に株直し追肥を行いましょう（N施肥量の目安：1~2kg/10a）。

### (2) 麦踏み

穂揃いの均一化などのために麦踏みを行いましょう。

- ・作業時期：越冬後の3月上・中旬（生育が再開する再生期以降）
- ・生育状況：茎立ち前（主稈長2cm，幼穂長2mm程度）

#### 主な効果 ~メリットがたくさん!!~

- ・麦への効果  
徒長や茎の早立ちの防止，分げつの増加，分げつ相互の生育調整，深根化，稈の強剛化，耐寒性・耐旱性の強化
- ・土壌への効果  
霜柱，旱害による被害の軽減，強風による土移動の軽減と防止。

※麦の生育量が足りない・茎立期以降・ほ場が湿っている場合は，逆効果となりますので，麦の生育状況とほ場の状態に注意してください。

### (3) 排水対策

麦は湿害に弱いです。今後気温が上昇していくにつれて，雪解け水がほ場内に停滞することで，湿害が発生する恐れがあります。そのために，明きよと暗きよの確認を行いましょう。

- ・明きよ…手直し，管理機等で溝を作りましよう。
- ・暗きよ…栓が閉じられていないか再確認しましよう。

## 東北地方 1 か月予報

(2月23日から3月22日までの天候見通し)

平成31年2月21日

仙台管区气象台 発表※抜粋

### <予想される向こう1か月の天候>

東北太平洋側では、向こう1か月の降水量と日照時間はほぼ平年並の見込みです。

向こう1か月の平均気温は、高い確率70%です。週別の気温は、1週目は、高い確率70%です。2週目は、高い確率70%です。3～4週目は、高い確率50%です。

### <向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>

		低い(少ない)	平年並	高い(多い)
【気温】	東北地方	10	20	70
【降水量】	東北太平洋側	30	30	40
【日照時間】	東北太平洋側	40	30	30

### <気象経過の各階級の確率(%)>

		低い	平年並	高い
1週目	東北地方	10	20	70
2週目	東北地方	10	20	70
3～4週目	東北地方	20	30	50

### <予報の対象期間>

1 か 月 2月23日(土)～3月22日(金)